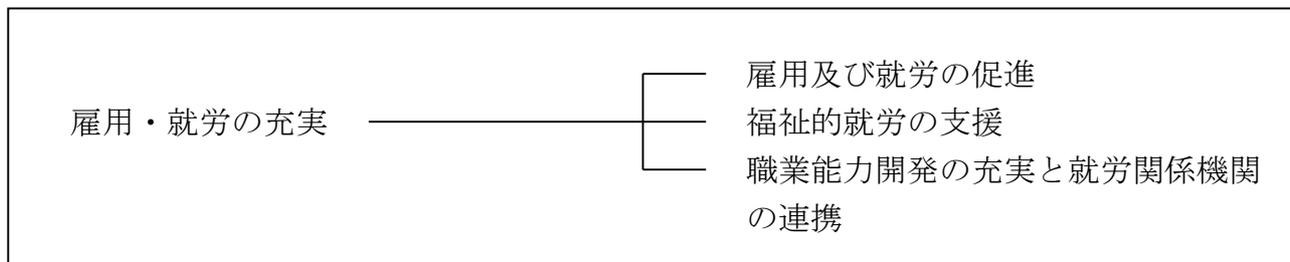


3. 雇用・就労の充実

障害者の自立と社会参加が職業を通して可能となる地域社会にしていく必要があります。本分野では、障害者一人一人の能力や特性等に応じた雇用・就労の支援と、職業能力開発のための職業リハビリテーションの充実を図ります。



(1) 現状と課題

この分野の主要な課題は、次の3つでした。

- ・雇用及び就労の促進
- ・福祉的就労の支援
- ・職業能力開発の充実と就労関係機関の連携

1) 現状

①雇用及び就労の促進

- 2008（平成20）年に開設した名張市障害者人材センターでは、県、ハローワーク、伊賀圏域障がい者就業・生活支援センター「ジョブサポート ハオ」、企業や障害福祉サービス事業所、特別支援学校等と連携を図りながら、総合的な就労支援に努めています。
- 伊賀圏域障がい福祉連絡協議会就労部会では、ハローワークや福祉就労事業所等の関係機関と連携し、情報共有や就労に関する課題を抽出し、解決策の協議等を行い、障害者就職面接会や事業所訪問等による働きかけ、企業訪問や障害者理解を深める研修会を実施しています。
- 障害者就職面接会は、ハローワークが主催し、毎年開催しています。あわせて、本市では、隔年に名張商工会議所、ハローワーク等の関係機関の協力のもと、開催しています。
- 本市の2018（平成30）年度の障害者雇用率は2.5%（身体障害者8名、知的障害者1名、精神障害者2名）であり、2019（令和元）年に新たに身体障害者3名を採用したことにより、障害者雇用率は2.8%となり、法定雇用率の基準である2.5%を達成しています。一方、教育委員会の2018（平成30）年度の障害者雇用率は2.67%（身体障害者1名）であり、2019（令和元）年に身体障害者1名を採用し、障害者雇用率が2.14%となり、法定雇用率の基準である2.4%を下回りました。

②福祉的就労の支援

- 企業就労が困難な人に対して、就労移行支援事業所や就労継続支援事業所等の福祉的就労への支援を実施しています。精神障害等で企業就労が難しくなる人が増加する一方で、市内には就労継続支援A型が1か所、就労移行支援も1か所しかなく、市外へ通所する人もいます。
- 伊賀圏域障がい福祉連絡協議会の就労部会では、利用者の一般就労へのステップアップや、安定した事業所運営につなぐための情報共有を目的に、福祉就労事業所の連絡会を開催しています。
- 2013（平成25）年度から障害者優先調達法に基づき、本市の障害者就労施設等からの物品等の優先調達方針を作成し、官公庁の優先発注を行っています。
- 障害者の作成した物品の展示販売の場として、名張市総合福祉センター「ふれあい」、とれたて名張交流館、名張市福祉まちづくりセンター（イオン名張店）内に「福祉の店」を設置し、その運営を支援しています。

③職業能力開発の充実と就労関係機関の連携

- 障害者の雇用支援としては、県では委託訓練等を実施しています。また、独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構（三重障害者職業センター）では、職業評価等の専門的な職業リハビリテーションの実施やジョブコーチによる職場適用のための支援を実施しています。
- 2009（平成21）年に「名張市障害者アグリ雇用推進協議会」を設立し、県や関係機関と連携し、農業の現場での障害者支援を行うための「農業ジョブトレーナー」の養成、講演会などの啓発活動等の事業を行っています。農業ジョブトレーナーや受入農家の確保、体験を希望する障害者の把握に努めていますが、通年での雇用が難しい個人農家が大半を占めるため、受入農家や就農を体験する障害者の数は伸び悩んでいます。こうしたことから、同協議会において、農業ジョブトレーナー等を活用した就農促進に取り組んでいます。
- 障害者の就農促進に関して、就労受入先に対する支援や環境整備については、名張市障害者人材センターを軸に関係機関と連携して検討しています。

2) 基礎調査結果

①雇用及び就労の促進

・雇用及び就労の促進（現在の就労状況）

- 「現在働いているかどうか」を障害者本人に聞いたところ、「働いていない」の回答が64.6%、「会社等で常勤で働いている」が9.2%、「パートやアルバイト」が5.9%、「作業所や施設」が5.7%、「無回答」が7.5%となっています。
- 「働いていない」と回答した人（64.6%）のうち、60歳以上の身体障害者の人が42.7%を占めています。
- 自由記載では、障害者本人から「障害があっても就職しやすい職場づくり」を望む意見が多数ありました。

○自由記載の介護者の意見でも、「働く場が少なく、選択肢が限られることから障害者雇用の充実」を、一般市民の意見では、「障害者雇用の充実」に加え、「職場内での暴言等を取り締まる監査・監督」が必要という意見がありました。

・雇用及び就労の促進（働いていない理由）

○「現在働いていない理由」を障害者本人に聞いたところ、全体で「その他」の回答が69.3%を示しており、「無回答」が11.7%、「わからない」が8.0%、「勤めだすと体調が悪くなる」が4.7%、「通院日に休暇を取りにくい」が1.8%となっています。

○その他全体の中で68.9%を占めるのが60歳以上の身体障害者で、主な理由は「高齢（年金生活）のため」となっています。

○各障害の理由を見ると、0～19歳は「子ども（学生）のため」、20～59歳では知的障害者が「物事の判別ができないため」「重度で全面介護のため」といった理由が多く見られました。

・雇用及び就労の促進（心配事の内容）

○「現在の生活で困っていること（複数回答）」の内容を障害者本人に聞いたところ、「経済的問題」と答えた人が31.4%となっています。また、月収について金額を聞いたところ、10万円以下が52.6%となっています。

○身体障害者（障害の重複含む。）全体の中で10万円未満の占める割合は35.7%、知的障害者（重複含む。）全体の中では77.4%、精神障害者（重複含む。）全体の中では75.0%となっており、身体障害者に比べ知的障害者・精神障害者の月収が低い傾向にあります。また、年齢や性別でもばらつきがあります。

・雇用及び就労の促進（障害者福祉の課題で重要だと思うこと）

○「障害者福祉を推進していくために取り組むべき課題で重要だと思うこと（複数回答可）」を一般市民に聞いたところ、「雇用・就労の場の確保」56.8%、「職業紹介や指導・訓練の充実」が51.8%となっています。

○年齢別に見ると、40～49歳で「雇用・就労の場の確保」が一番重要と回答しています。その他の年代ではどの年代でも「学校教育」に次いで「雇用・就労の場の確保」「職業紹介や指導・訓練の充実」が重要と回答していることから、雇用・就労に対してどのような支援をしていくかが大きな課題となります。

3) 課題

この分野では、次の3つを主要な課題とします。

- ・雇用及び就労の促進
- ・福祉的就労の支援
- ・職業能力開発の充実と就労関係機関の連携

(2) 施策の目標

1) 雇用及び就労の促進

- 本人が自分に合った働き方の選択ができるよう、ハローワーク等の求人や障害者就職面接会等の情報提供を図ります。
- 伊賀圏域障がい福祉連絡協議会の就労部会を通じて、今後も、労働、福祉、教育等の各分野の関係機関と連絡調整を行い、総合的な就労支援に努めます。
- 雇用に関する相談が増加する中、国や県が開設する労働に関する相談窓口の周知拡大を図ります。
- 労働行政機関である労働局を中心とし、関係機関である労働基準監督署やハローワークなどと連携し、企業への助成・訓練制度の周知など、障害者雇用に関する啓発活動を行うとともに、障害に応じた就労の工夫や改正障害者雇用促進法（2016（平成28）年施行）で規定された、雇用分野における障害者に対する差別禁止及び障害者が職場で働くに当たっての支障を改善するための措置（合理的配慮の提供義務）の周知に努めます。
- 障害者雇用促進法に基づき、引き続き、市における法定雇用率の達成に向け、障害者の適性に配慮した雇用や就労の継続に努めます。

2) 福祉的就労の支援

- 一般企業への就労が困難な障害者に対し、相談支援事業所や就労支援事業所と連携して、障害福祉サービスである福祉的就労で必要な技能を習得し、その後、一般就労へステップアップできるよう、障害者への就労及びその継続を支援します。
- 本人の相談、助言に関しては、きめ細かい支援の充実に向け、就労支援事業所や医療機関、家族等と連携を図ります。
- 2021（令和3）年に「三重とこわか大会（全国障害者スポーツ大会）」の開催に伴い、市の発注において、障害者の雇用の機会の提供と福祉施設の工賃向上に向けた優先調達の利用啓発に努めます。
- 「福祉の店」については、新たな販路の確保・拡大に努めます。

3) 職業能力開発の充実と就労関係機関の連携

- 県の委託訓練で一定期間（3か月間程度）技能習得訓練等を行うことによって、自分の適性や能力に合った企業への就労を見極めることにより、就職率及び定着率の向上に努めます。
- 障害者アグリ雇用推進協議会では、就労や多様な活動の場の提供として農業ジョブトレーナーの養成や障害者の体験実習のための就労受入農家、就労体験を希望する障害者の確保に向け、さらに啓発活動に取り組み、あわせて農福連携の基本理念に基づき、農業分野等での作業受委託の調整を積極的に進めていきます。
また、みはたメイハンランドの農園ゾーンを就農体験農園として位置付け、地元地域と連携を図りながら活用し、名張市障害者人材センターを軸に関係機関と連携して、就農支援を行っていきます。